



平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年12月18日

上場会社名 日本オラクル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4716 URL <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 兼 CEO (氏名) 杉原 博茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 兼 CFO (氏名) 野坂 茂 TEL 03-6834-6666
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第2四半期の業績（平成27年6月1日～平成27年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	77,792	△0.5	22,577	△0.5	22,669	△0.7	15,127	2.8
27年5月期第2四半期	78,157	7.6	22,682	16.5	22,827	17.5	14,708	23.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第2四半期	118.86	118.66
27年5月期第2四半期	115.63	115.56

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第2四半期	183,978	117,167	63.2	913.02
27年5月期	188,847	113,826	59.8	887.28

(参考) 自己資本 28年5月期第2四半期 116,244百万円 27年5月期 112,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	95.00	95.00
28年5月期	—	0.00	—	—	—
28年5月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 次期の配当金は未定です。配当予想額の開示が可能になり次第、速やかに開示いたします。

3. 平成28年5月期の業績予想（平成27年6月1日～平成28年5月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高	1株当たり 当期純利益
	%	円
通期	2.0 ～5.0	245 ～254

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成28年5月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。

3. 予想実効税率は33.5%です。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年5月期2Q	127,364,371株	27年5月期	127,308,971株
② 期末自己株式数	28年5月期2Q	45,821株	27年5月期	62,205株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年5月期2Q	127,272,690株	27年5月期2Q	127,206,426株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託および株式付与ESOP信託を導入しております。信託が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P4.「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績の概要

当第2四半期累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日。以下、「当四半期」)においては、日本国内の経済環境は、雇用・所得環境の改善に伴い個人消費は底堅く推移し、企業の業績においては引き続き緩やかな改善基調にあります。企業のIT投資意欲についても金融、流通サービス業を中心に回復基調にあります。

技術・社会面では、デジタル・ディスラプション(デジタル化による大変革)、少子高齢化に伴う生産人口の減少と人手不足、グローバル化の進展など、従来型のビジネスモデルから未来志向型のビジネスモデルへの転換を迫られており、クラウド・IT活用による生産性の向上や成長分野への事業進出が課題となっております。

このような事業環境のもと、当社は、「VISION2020:2020年までにNo.1クラウドカンパニーになる」ことを目標に、当社のクラウドソリューション、クラウドのちから(POCO: The Power of Cloud by Oracle)を幅広く皆様にご利用頂けるよう「SaaS/PaaS/IaaS(注)事業の拡大」、「システム事業の拡大」、「エンタープライズ営業の強化」、「地域ビジネス成長に向けた支社体制の再編と拡充」を経営方針として事業を推進しております。

以上の結果、当四半期の経営成績につきましては、売上高77,792百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益22,577百万円(前年同期比0.5%減)、経常利益22,669百万円(前年同期比0.7%減)、四半期純利益15,127百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

(注1) SaaS (Software as a Service) : 財務会計や給与・人事管理などのソフトウェアの必要な機能を必要な分だけ、インターネットを経由して提供するサービス。

(注2) PaaS (Platform as a Service) : ITシステムを構築、稼働させるための基盤となるデータベース管理ソフトウェアや、異なるソフトウェア間を円滑に連携させる中間層のソフトウェアを、インターネットを経由して提供するサービス。

(注3) IaaS (Infrastructure as a Service) : ITシステムを構築、稼働させるための基盤(サーバーマシンやストレージなどのハードウェアやネットワークなど)そのものを、インターネットを経由して提供するサービス。

② 報告セグメント別の状況

【新規ライセンスおよびクラウド(SaaS/PaaS/IaaS)*】

* 従来の「クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」から名称変更いたしました。また、当社の事業管理区分の変更に伴い、従来「サービス」セグメントに含まれていた「マネージド・クラウド・サービス」を「クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)」セグメントに移管しております。

売上高は21,587百万円(前年同期比5.0%減)となりました。内訳につきましては、新規ライセンスの売上高は19,696百万円(前年同期比6.6%減)、クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)の売上高は1,891百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

当セグメントは企業等のIT基盤に利用される、データベース管理ソフトウェア、各種ミドルウェア、ERP等の業務アプリケーションソフトウェアの新規ライセンスを販売する「新規ライセンス」と、これらのソフトウェアを、インターネットを通じてサービス提供する「クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)」から構成されます。

クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)については、前事業年度より営業体制の強化、クラウド関連製品・サービスの拡充、パートナーアライアンスを強力に推進しております。その結果、新規ユーザーが急速に拡大しており、当四半期の売上高については、前年同期比15.8%増と2ケタ成長となりました。

平成27年7月には、これまでオンプレミスで提供してきました「Oracle Exadata」をクラウド環境で提供する「Oracle Database Cloud - Exadata Service」や、ビッグデータの利活用を支援する「Oracle Big Data Cloud Service」など、新たに6つのサービスを「Oracle Cloud Platform」に追加し、提供を開始しました。これらのクラウドサービスは、オンプレミスに比べシステムの早期導入を可能にするほか、オンプレミス製品で培ってきた標準技術で構築しているため、お客様がこれまで投資されてきたITシステムとの連携や、クラウド環境へのスムーズな移行を可能とします。また、Oracle Cloud Platformを幅広く皆様にご利用頂くため、Oracle Cloudを活用したパートナーソリューションを表彰する「POCOコンテスト」の開催、全国のシステム・インテグレータ、独立ソフトウェアベンダーを対象とした説明会を開催するなど、パートナー企業向けプログラムを推進しております。今後もさらにクラウドソリューションを拡充し、安心してお使い頂けるよう製品供給、顧客サポート体制を強化し、ユーザー数の拡大を行ってまいります。

[アップデート&プロダクト・サポート]

売上高は38,401百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

当セグメントは、ライセンスを利用されているお客様に更新版等のアップデートや技術サポートを提供しております。

導入製品や利用環境に応じたプロアクティブ（事前対処的）、かつプリベンティブ（予防的）なサポートを提供する「My Oracle Support」等、製品を利用されているお客様に対するサポートの価値訴求や、特にパートナー様との協業を推進し、新規にライセンスを購入されたお客様からの新規契約と既存のお客様からの契約更新を確保し、堅調に推移しました。

[ハードウェア・システムズ]

売上高は9,399百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

内訳につきましては、ハードウェア・システムズ・プロダクトの売上高は4,241百万円（前年同期比26.7%減）、ハードウェア・システムズ・サポートの売上高は5,157百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

当セグメントは、サーバー、ストレージ、エンジニアド・システム、ネットワーク機器等のハードウェアの販売およびそれらのオペレーティングシステム（OS）や関連ソフトウェアを提供する「ハードウェア・システムズ・プロダクト」、ハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンスの提供およびOS等関連ソフトウェアの更新版等の提供を行う「ハードウェア・システムズ・サポート」から構成されます。

ハードウェア・システムズ・プロダクトにおいて、前年同期の大型案件の反動減の影響がありました。

[サービス]

売上高は8,404百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

当セグメントは、当社製品の導入支援を行う「コンサルティング・サービス」、予防保守サービスやお客様のIT環境の包括的な運用管理サービスを提供する「アドバンストカスタマーサポートサービス」、技術者や利用者向けの研修事業や技術資格の認定事業を提供する「エデュケーション・サービス」から構成されております。

アドバンストカスタマーサポートサービスの予防保守サービスが「Oracle Exadata Database Machine」向けに引き続き好調に推移しました。またエデュケーションサービスでは、インターネット・オブ・シングス（IoT）への対応や、クラウド環境上でのアプリケーション構築に必要な最新Java技術研修の需要が高まっております。

<報告セグメント別売上高の状況>

区分	平成27年5月期 第2四半期		平成28年5月期 第2四半期			平成27年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比	対前年 同期比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
新規ライセンス	21,094	27.0	19,696	25.3	△6.6	45,544	28.3
クラウド（SaaS/PaaS/IaaS）	1,632	2.1	1,891	2.4	15.8	3,298	2.0
新規ライセンスおよび クラウド（SaaS/PaaS/IaaS）	22,727	29.1	21,587	27.7	△5.0	48,843	30.3
アップデート&プロダクト・サポート	36,298	46.4	38,401	49.4	5.8	73,401	45.6
ソフトウェアおよびクラウド	59,025	75.5	59,988	77.1	1.6	122,244	75.9
ハードウェア・システムズ・プロダクト	5,788	7.4	4,241	5.5	△26.7	11,570	7.2
ハードウェア・システムズ・サポート	5,022	6.4	5,157	6.6	2.7	10,219	6.3
ハードウェア・システムズ	10,811	13.8	9,399	12.1	△13.1	21,790	13.5
サービス	8,320	10.6	8,404	10.8	1.0	17,016	10.6
合計	78,157	100.0	77,792	100.0	△0.5	161,051	100.0

（注）金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

なお、前年同期の売上高は、変更後の区分方法および名称により作成したものを記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は183,978百万円(前事業年度末比4,868百万円減)となりました。流動資産は144,029百万円(前事業年度末比4,479百万円減)となりました。

負債は66,810百万円(前事業年度末比8,209百万円減)、純資産は117,167百万円(前事業年度末比3,341百万円増)となりました。この結果、自己資本比率は63.2%(前事業年度末比3.4ポイントアップ)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月26日に発表いたしました平成28年5月期の業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	127,194	126,716
売掛金	17,578	13,745
その他	3,737	3,570
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	148,508	144,029
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	12,340	11,966
土地	26,057	26,057
その他(純額)	1,233	1,195
有形固定資産合計	39,631	39,218
無形固定資産	7	6
投資その他の資産		
その他	704	729
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	700	724
固定資産合計	40,338	39,949
資産合計	188,847	183,978
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,008	7,535
未払金	5,568	4,781
未払法人税等	9,528	7,866
前受金	42,674	43,007
賞与引当金	1,752	1,463
その他の引当金	272	209
その他	5,206	1,940
流動負債合計	75,012	66,803
固定負債		
その他	7	7
固定負債合計	7	7
負債合計	75,020	66,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,743	22,857
資本剰余金	6,094	6,208
利益剰余金	84,361	87,396
自己株式	△295	△217
株主資本合計	112,903	116,244
新株予約権	922	922
純資産合計	113,826	117,167
負債純資産合計	188,847	183,978

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
売上高	78,157	77,792
売上原価	40,389	39,340
売上総利益	37,767	38,451
販売費及び一般管理費	15,085	15,874
営業利益	22,682	22,577
営業外収益		
受取利息	24	38
為替差益	93	48
その他	27	8
営業外収益合計	145	94
営業外費用		
その他	0	2
営業外費用合計	0	2
経常利益	22,827	22,669
特別利益		
新株予約権戻入益	101	21
特別利益合計	101	21
税引前四半期純利益	22,929	22,691
法人税等	8,220	7,563
四半期純利益	14,708	15,127

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	22,929	22,691
減価償却費	584	603
株式報酬費用	66	51
賞与引当金の増減額(△は減少)	△508	△288
その他の引当金の増減額(△は減少)	△19	△63
受取利息及び受取配当金	△26	△40
支払利息	0	—
固定資産除売却損益(△は益)	0	2
売上債権の増減額(△は増加)	2,256	3,833
たな卸資産の増減額(△は増加)	0	—
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△743	165
仕入債務の増減額(△は減少)	371	△2,473
未払金の増減額(△は減少)	1,554	△791
前受金の増減額(△は減少)	582	332
その他の流動負債の増減額(△は減少)	714	△3,191
その他	△87	33
小計	27,674	20,864
利息及び配当金の受取額	41	42
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△8,539	△9,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,176	11,606
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△199	△189
無形固定資産の取得による支出	—	△0
貸付金の回収による収入	48,500	—
定期預金の預入による支出	△40,000	△90,000
定期預金の払戻による収入	—	75,000
差入保証金の差入による支出	△5	—
差入保証金の回収による収入	20	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,315	△15,189
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	49	198
自己株式の取得による支出	△2	△2
配当金の支払額	△10,982	△12,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,934	△11,896
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16,556	△15,478
現金及び現金同等物の期首残高	41,536	82,194
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,093	66,716

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成26年6月1日至平成26年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損 益計算書 計上額 (注) 2
	新規ライセンス およびクラウド (SaaS/PaaS/IaaS)	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウェ ア・システ ムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,727	36,298	10,811	8,320	78,157	—	78,157
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,727	36,298	10,811	8,320	78,157	—	78,157
セグメント利益	3,347	19,445	514	1,420	24,728	△2,045	22,682

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,045百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部
門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損 益計算書 計上額 (注) 2
	新規ライセンス およびクラウド (SaaS/PaaS/IaaS)	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウェ ア・システ ムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	21,587	38,401	9,399	8,404	77,792	—	77,792
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,587	38,401	9,399	8,404	77,792	—	77,792
セグメント利益	1,904	20,378	477	2,006	24,767	△2,190	22,577

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,190百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部
門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、従来の「新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」セグメントを「新規ライセンスおよびクラウド (SaaS/PaaS/IaaS)」セグメントに名称変更しております。また、当社の事業管理区分の変更に伴い、従来「サービス」セグメントに含まれていた「マネージド・クラウド・サービス」を「新規ライセンスおよびクラウド (SaaS/PaaS/IaaS)」セグメントに移管しております。なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法および名称により作成したものを記載しております。